



1.3.5.9.10_成人した仲間たちと記念写真 2_交通安全宣言をした新成人 4_誓いのことばを発表する新成人 6_御船花き振興会から花が贈られる 7_第二部で校歌を全員斉唱 8_恩師からお祝いのことば

—成人式実行委員—

実行委員長・牧山和人さん(木倉)、実行委員・吉村将貴さん(木倉)、中林和也さん(滝川)、橋口直生さん(御船)、峰孝太郎さん(豊秋)、高添敦也さん(高木)、徳永花帆さん(滝川)、丸山瀬奈さん(御船)、高瀬夏葵さん(陣)、松崎花鈴さん(高木)



平成30年度

御船町 成人式

1月13日、3年ぶりにカルチャーセンターホールで成人式が開催されました。今年の御船町の新成人は、平成10年4月1日生まれの186人(男98人、女88人)が対象で、振り袖や真新しいスーツに身を包んだ134人が出席しました。

式典では、藤木正幸町長が「困難から逃げることなく、さまざまな経験を積み重ね、それぞれの夢の実現のために努力することを忘れないでください」と激励しました。

新成人を代表して7人が誓いのことば、交通安全宣言、意見発表を行い、大人としての自覚と決意を述べました。

また、新成人による実行委員会(牧山和人実行委員長)が企画した第2部では、中学校時代の恩師からのメッセージや、なつかしい思い出の 슬라이ドが上映され、最後は全員で御船中学校の校歌を歌い、会場は笑顔があふれていました。



「二十歳を迎えて」 やま ち ゆうしん 山地 雄晨さん(小坂)

私は小学1年生のときにソフトボールを習い始めました。高校時代では全国5位という悔しい結果に終わりました。現在、ソフトボールの日本リーグに所属しているDENSÔに就職し、日本一を目指して頑張っています。今後は、チームのエースの座を勝ち取り、さらなる夢を追いかけていきたいです。私たち新成人がこの日を迎えられたのは今まで温かく育み支えてくださった多くの方々のおかげです。これからも、ふるさと御船への感謝の気持ちを大切に、社会人としての自覚と責任をもって頑張りたいです。



「夢の実現へ」 ひがし あきたか 東 晃隆さん(滝川)

私は、小学校の頃から14年間サッカーを続けてきました。高校はルーテル学院に進学し、人として、サッカー選手として一流選手を目標に毎日サッカーに打ち込みました。一番の思い出は、熊本県で優勝を果たし、全国高校サッカー選手権大会に出場したことです。それは私の中でも最高の瞬間であり、一生の宝物となりました。現在は、九州国際大学スポーツマネジメントコースに進学し、地域のイベントやキッズサッカーなどを開催して、地域とスポーツの繋がりについて学んでいます。今後は、一社会人になったという自覚を持ち、「夢の実現」のために社会への一歩を力強く踏み出します。



「私を変えた出会い」 わたなべ あおい 渡邊 蒼生さん(滝川)

私は幼少期から続けてきたサッカーで大きなけがをしてしまい、通院することとなり、そこで初めて理学療法士という職業に出会いました。私を担当してくれた理学療法士の方は、私の不安やサッカーができないことへのストレスを少しでも少なくなるよう、どんな時でも笑顔で接してくださり、毎日のリハビリを頑張ることができました。そんな姿を見て、私も多くの人を笑顔にし、私が担当でよかったと思ってもらえるような理学療法士になることが私の今の目標です。将来は、自分の家族のような、温かく活気あふれる家庭が築けるように頑張っていきます。

